

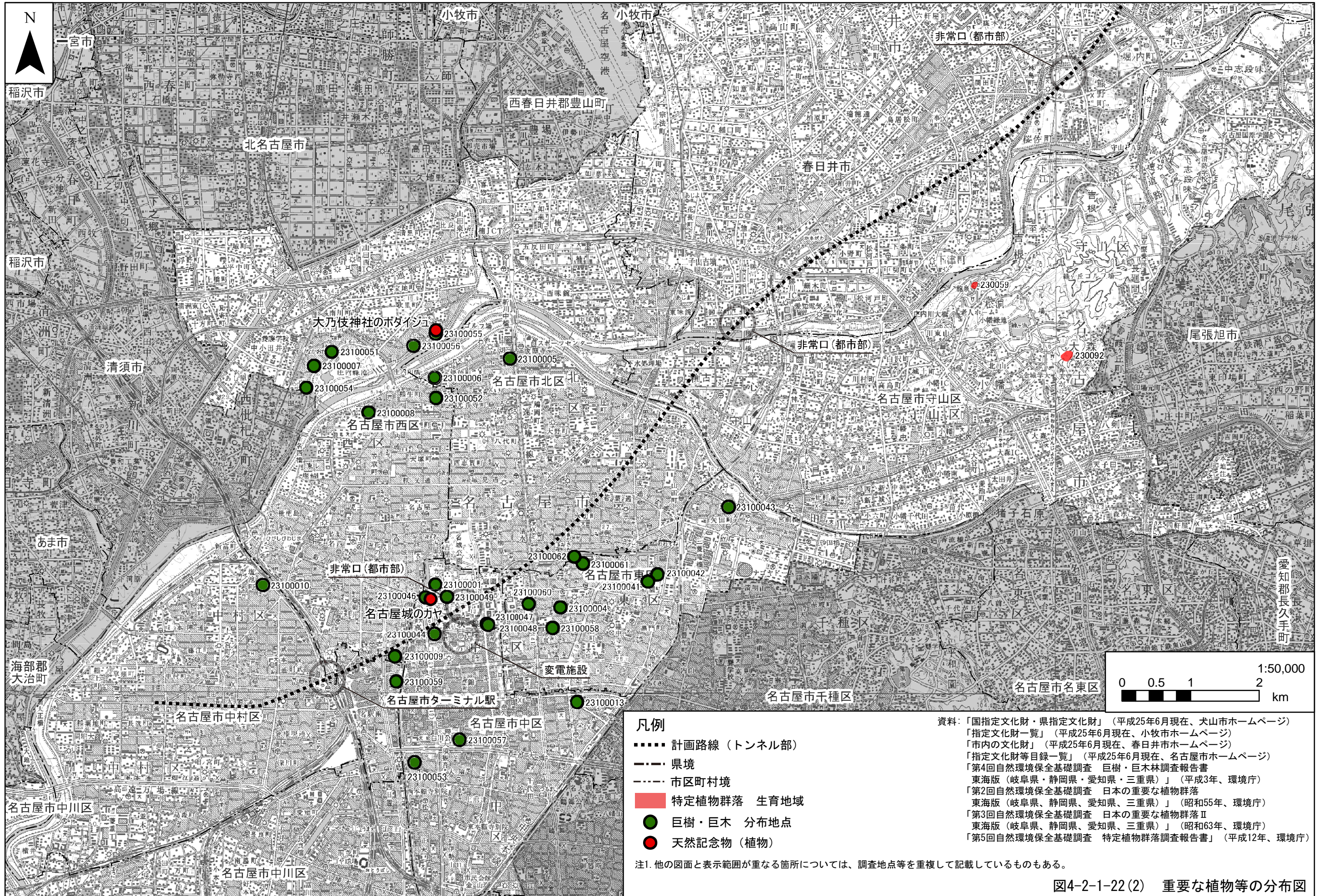
凡例

- ..... 計画路線（トンネル部）
- 県境
- 市区町村境
- 特定植物群落 生育地域
- 巨樹・巨木 分布地点
- 天然記念物（植物）

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「国指定文化財・県指定文化財」（平成25年6月現在、犬山市ホームページ）  
 「指定文化財一覧」（平成25年6月現在、小牧市ホームページ）  
 「市内の文化財」（平成25年6月現在、春日井市ホームページ）  
 「指定文化財等目録一覧」（平成25年6月現在、名古屋市ホームページ）  
 「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）」（平成3年、環境庁）  
 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）」（昭和55年、環境庁）  
 「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）」（昭和63年、環境庁）  
 「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）

図4-2-1-22(1) 重要な植物等の分布図



**凡例**

- ..... 計画路線 (トンネル部)
- 県境
- 市区町村境
- 特定植物群落 生育地域
- 巨樹・巨木 分布地点
- 天然記念物 (植物)

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料: 「国指定文化財・県指定文化財」(平成25年6月現在、犬山市ホームページ)  
「指定文化財一覧」(平成25年6月現在、小牧市ホームページ)  
「市内の文化財」(平成25年6月現在、春日井市ホームページ)  
「指定文化財等目録一覧」(平成25年6月現在、名古屋市ホームページ)  
「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)」(平成3年、環境庁)  
「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)」(昭和55年、環境庁)  
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)」(昭和63年、環境庁)  
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)

図4-2-1-22(2) 重要な植物等の分布図

表 4-2-1-81 巨樹・巨木林の存在状況

No.	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周 (cm)	樹高 (m)
23219005	小牧市 神明社	200~299	クスノキ	375	15
23219006	小牧市 知恵之天神社	200~299	スタジイ	300	15
23219007	小牧市 外山神社	200~299	ムクノキ	306	14
23219008	小牧市 神明社	200~299	アベマキ	310	9
23219009	小牧市 貴船社	200~299	アベマキ	403	20
23215001	犬山市 大県社	200~299	スギ	355	18
23206001	春日井市	200~299	ツブラジイ	561	12
23206002	春日井市	200~299	ツブラジイ	480	11.5
23206003	春日井市	100~199	ツブラジイ	317	17.5
23206004	春日井市	200~299	クスノキ	350	17
23206005	春日井市	200~299	クスノキ	322	15.5
23206006	春日井市	100~199	ツブラジイ	392	16.5
23206007	春日井市	100~199	イチョウ	440	10.5
23206008	春日井市	99 以下	ヤマザクラ	302	13
23206009	春日井市	200~299	アラカシ	483	18
23206010	春日井市	200~299	イチョウ	369	17.5
23206011	春日井市 白山神社付近	200~299	ケヤキ	432	17
23100001	名古屋市 名古屋城	300 以上	カヤ	810	15
23100004	名古屋市	300 以上	ムクノキ	542	25
23100005	名古屋市 天神社	300 以上	エノキ	310	18
23100006	名古屋市 聖徳寺	300 以上	ムクノキ	300	16
23100007	名古屋市 五所社	—	クスノキ	320	21
23100008	名古屋市 新福寺	300 以上	シイノキ	358	17
23100009	名古屋市 浅間神社	100~199	イチョウ	306	20
23100010	名古屋市 六生社	200~299	クロガネモチ	304	15
23100013	名古屋市 乾徳寺	300 以上	クスノキ	324	15
23100041	名古屋市 葵公園	300 以上	クスノキ	350	18
23100042	名古屋市 葵公園	300 以上	シイノキ	450	8
23100043	名古屋市 長母寺	300 以上	シイノキ	440	14
23100044	名古屋市 金明竜神社	300 以上	ムクノキ	525	24
23100046	名古屋市	300 以上	イチョウ	500	25
23100047	名古屋市 三の丸土塁	不明	ヤマザクラ	410	15
23100048	名古屋市 三の丸	不明	クスノキ	320	20
23100049	名古屋市 婦人文化会館	不明	ムクノキ	360	15
23100051	名古屋市 星神社	300 以上	ムクノキ	400	18
23100052	名古屋市 伊奴神社	300 以上	ツブラジイ	308	12
23100053	名古屋市 聖運寺	300 以上	イチョウ	445	23
23100054	名古屋市 床内川右岸	300 以上	エノキ	301	16
23100055	名古屋市 大野伎神社	300 以上	ムクノキ	370	18
23100056	名古屋市 床内川右岸堤	300 以上	イチョウ	338	16
23100057	名古屋市 白川公園	300 以上	クスノキ	303	22
23100058	名古屋市 松山神社	300 以上	イチョウ	302	17.5
23100059	名古屋市 泥江県神社	300 以上	イチョウ	303	19
23100060	名古屋市 国道 41 号	300 以上	クスノキ	329	20.5
23100061	名古屋市 市立工芸高等学校	300 以上	イチョウ	329	15.5
23100062	名古屋市 尼ヶ坂公園	300 以上	クスノキ	395	18.5
23100062	名古屋市 尼ヶ坂公園	300 以上	ムクノキ	393	18

注1. 表中の所在地については、資料図書をそのまま記載している。

資料：「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査報告書 東海版

(岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)」(平成3年、環境庁)

表 4-2-1-82 特定植物群落の存在状況

No.	名称	所在地	指定状況			保護の現状
			第2回	第3回	第5回	
230035	小牧大山の照葉樹林	小牧市大字大山 (小牧市大山)	A, E	A, E	A, E	愛知県自然環境保全地域 国指定史跡 (大山廃寺塔趾)
230058	犬山ヒトツバタゴの自生地	犬山市池野町	B	B	B	国指定天然記念物
230091	オグラコウホネ群落	犬山市			B, C	
230059	竜泉寺のコジイ林	名古屋市守山区	A, E		A, E	
230092	御津神社社叢	名古屋市守山区			E	

注1. 表中の所在地については資料図書をそのまま記載している。なお、現在の地名を( )内に記載した。

注2. 指定状況の記号は選定基準を示す。

<選定基準>

A: 原生林もしくはそれに近い自然林

B: 国内若干地域に分布するが、極めて希な植物群落又は個体群

C: 比較的普通に見られるものであっても、南限・北限・隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落  
又は個体群

D: 砂丘・断崖地・塩沼地・湖沼・河川・湿地・高山・石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群  
で、その群落の特徴が典型的なもの

E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入って  
いないもの

G: 乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群

H: その他、学術上重要な植物群落又は個体群

資料: 「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版  
(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)」(昭和55年、環境庁)

「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落Ⅱ 東海版  
(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)」(昭和63年、環境庁)

「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」  
(平成12年、環境庁)

表 4-2-1-83(1) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
マツバラ科	マツバラ				NT		
ヒカゲノカズラ科	アスヒカズラ					VU	
	スギラン				VU		
	ヤチスギラン					VU	
ミズニラ科	ミズニラ				NT	NT	
ハナヤスリ科	ヒロハハナヤスリ					VU	
キジノオシダ科	タカサゴキジノオ					VU	
	ヤマソテツ					NT	
コケシノブ科	ウチワゴケ						VU
	ミカワコケシノブ				EN		
コバノイシカグマ科	イシカグマ					NT	
シシラン科	タキミシダ				EN		
チャセンシダ科	カミガモシダ					EN	
	トキワトラノオ						NT
	オクタマシダ				VU	VU	
	チャセンシダ						VU
シシガシラ科	コモチシダ						VU
オシダ科	タカサゴシダ					EN	
	ヌカイタチシダ					NT	
	ワカナシダ					VU	
	オワセベニシダ					VU	
	タニヘゴ						NT
ヒメシダ科	ツクシヤワラシダ					VU	CR
メシダ科	ウスヒメワラビ						EN
	ミヤマシケシダ					NT	
	ウスバシケシダ				VU	VU	VU
	シロヤマシダ						EN
	ウスバミヤマノコギリシダ					VU	
ウラボシ科	クラガリシダ				EN		
	イワオモダカ					VU	
ヒメウラボシ科	オオクボシダ					NT	
デンジソウ科	デンジソウ				VU	EN	
サンショウモ科	サンショウモ				NT	EN	
アカウキクサ科	アカウキクサ				VU		
	オオアカウキクサ				VU	EN	
イチイ科	カヤ						CR
ヤナギ科	キヌヤナギ					NT	VU
カバノキ科	カワラハンノキ						VU
	サクラバハンノキ				NT		NT
ブナ科	フモトミズナラ					NT	
	モンゴリナラ						VU
	ウラジロガシ						VU
イラクサ科	ミヤコミズ				VU	CR	
タデ科	ウナギツカミ						VU
	ヒメタデ				VU		
	ホソバイヌタデ				NT	VU	
	サイコクヌカボ				VU	NT	
	ナガバノウナギツカミ				NT	NT	EN
	コミゾソバ					NT	
	ヌカボタデ(コヌカボタデを含む)				VU		
	ヒメボントクタデ					NT	
	ノダイオウ				NT		
コギシギシ				VU			

表 4-2-1-83(2) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
ナデシコ科	カワラナデシコ						NT
アカザ科	ハマアカザ					VU	
モクレン科	シデコブシ				NT	VU	EN
クスノキ科	カゴノキ						NT
	ニッケイ				NT		
	ダンコウバイ						CR
	ヒメクロモジ						NT
	シロダモ						
キンポウゲ科	スハマソウ				NT	NT	CR
	カザグルマ				NT	VU	CR
	ウマノアシガタ						VU
メギ科	ヘビノボラズ					NT	NT
	ヒメイカリソウ						CR
スイレン科	ジュンサイ						NT
	オニバス				VU		
	ヒメコウホネ				VU	EN	CR
マツモ科	マツモ						NT
ウマノスズクサ科	オオバウマノスズクサ						VU
	スズカカンアオイ						NT
ボタン科	ヤマシャクヤク				NT		
マタタビ科	マタタビ						VU
オトギリソウ科	サワオトギリ						VU
モウセンゴケ科	ナガバノイシモチソウ			○	VU		
	シロバナナガバノイシモチソウ			○		CR	
	イシモチソウ				NT	VU	EN
	モウセンゴケ						NT
アブラナ科	ミズタガラシ					NT	CR
	マルバタネツケバナ					VU	
	コイヌガラシ				NT		VU
マンサク科	ダンドミズキ				NT		
	マンサク						NT
ベンケイソウ科	ツメレンゲ				NT	NT	VU
ユキノシタ科	ミカワショウマ				VU	VU	
	キバナハナネコノメ				NT		
	コアジサイ						NT
	コガクウツギ					EN	CR
	ウメバチソウ						EN
	タコノアシ				NT		
	ヤブサンザシ					VU	EN
	ナメラダイモンジソウ					NT	
	イワガラミ						EN
バラ科	オオウラジロノキ						VU
	カワラサイコ					NT	EN
	エチゴツルキジムシロ					EN	
	ワタゲカマツカ						NT
	マメナシ				EN	CR	EN
マメ科	ホドイモ						VU
	カワラケツメイ						NT
	タヌキマメ						VU
	カラメドハギ						EN
	イヌハギ				NT	VU	CR
	マキエハギ						NT
	ビワコエビラフジ					EN	

表 4-2-1-83(3) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
トウダイグサ科	ハギクソウ			○	CR	CR	
	ヒトツバハギ						CR
ニガキ科	ニガキ						VU
カエデ科	カラコギカエデ					VU	
	ハナノキ				VU	CR	
モチノキ科	タマミズキ						VU
	ミヤマウメモドキ					VU	
アオイ科	ハマボウ					VU	
ジンチョウゲ科	ガンピ						VU
スマレ科	コタチツボスマレ					VU	
	ケイリュウタチツボスマレ						NT
	オオタチツボスマレ					EN	
	スマレサイシン					EN	
	アギスマレ						VU
ミソハギ科	ヒメミソハギ						EN
	ミズスギナ				EN		
	ミズキカシグサ				VU		
	ミズマツバ				VU		
ヒシ科	ヒメビシ				VU		
アカバナ科	ウスゲチョウジタデ				NT	EN	
アリノトウグサ科	オグラノフサモ				VU	VU	VU
	ホザキノフサモ						VU
	タチモ				NT	NT	EN
セリ科	ノダケ						VU
	エキサイゼリ				NT	CR	
	ムカゴニンジン						VU
イワウメ科	オオイワカガミ					VU	
イチヤクソウ科	シャクジョウソウ					NT	
	ギンリョウソウモドキ						VU
	イチヤクソウ						NT
ツツジ科	イワナシ					EN	
	ナガボナツハゼ			○	CR	CR	
サクラソウ科	ノジトラノオ				VU	CR	
	クサレダマ						NT
ハイノキ科	クロミノニシゴリ						NT
モクセイ科	ヒトツバタゴ				VU	EN	
リンドウ科	リンドウ						EN
	コケリンドウ					VU	
	イヌセンブリ				VU	NT	VU
ミツガシワ科	ガガブタ				NT	NT	NT
	アサザ				NT		
ガガイモ科	フナバラソウ				VU		
	クサナギオゴケ				VU	NT	
	スズサイコ				NT		EN
アカネ科	ホソバニセジュズネノキ						VU
	ナガバジュズネノキ					EN	
	キクムグラ					NT	EN
	ホソバノヨツバムグラ						VU
ヒルガオ科	ネナシカズラ						NT
ムラサキ科	ホタルカズラ					VU	
	ハイルリソウ				CR	EX	
	ミズタビラコ					NT	
クマツヅラ科	ヤブムラサキ						EN

表 4-2-1-83(4) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
シソ科	タチキランソウ				NT		
	ジュウニヒトエ					VU	
	ケブカツルカソウ				EN	EN	
	ミズネコノオ				NT	VU	EN
	ミズトラノオ				VU	VU	CR
	マネキグサ				NT		
	オドリコソウ						VU
	ハッカ						NT
	ヤマジソ				NT		
	ヤマハッカ						VU
	シマジタムラソウ				VU	NT	CR
	ミゾコウジュ				NT		NT
	オカタツナミソウ						EN
	タツナミソウ						VU
	シソバタツナミ						VU
	イガタツナミ						VU
イヌゴマ						NT	
ニガクサ						VU	
ナス科	ヤマホオズキ				EN	NT	
	マルバノホロシ						EN
ゴマノハグサ科	ゴマクサ				VU	VU	
	マルバノサワトウガラシ				VU		
	オオアブノメ				VU	NT	
	スズメノハコベ				VU	NT	
	ミカワシオガマ				EN	EN	
	オオヒキヨモギ				VU		
	イヌノフグリ				VU		VU
カワヂシャ				NT			
ハマウツボ科	ナンバンギセル						NT
	キヨスミウツボ					VU	
タヌキモ科	ノタヌキモ				VU	VU	
	ミミカキグサ						NT
	ホザキノミミカキグサ						NT
	フサタヌキモ				EN	EX	
	ミカワタヌキモ				VU	EN	
	コタヌキモ					EX	
	ヒメタヌキモ				NT	VU	
	ヒメミミカキグサ				EN	EN	
	イヌタヌキモ				NT		
ムラサキミミカキグサ				NT	NT	NT	
スイカズラ科	オオカメノキ						VU
キキョウ科	サワギキョウ						VU
	タニギキョウ						VU
	キキョウ				VU	NT	VU
キク科	ヌマダイコン						EN
	オクモミジハグマ						VU
	キッコウハグマ						VU
	カワラハハコ						VU
	カワラニンジン						NT
	ヒメシオン					VU	
	ウラギク				VU		
	オケラ						VU
シロバナタカアザミ					EN		



表 4-2-1-83(5) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
キク科	キセルアザミ						NT
	ワタムキアザミ				VU		
	フジバカマ				NT	EN	
	アキノハハコグサ				VU		
	ミズギク					NT	EN
	オグルマ						VU
	ムラサキニガナ						VU
	ミコシギク				VU		
	ヤマタバコ				CR	EX	
	カシワバハグマ						EN
	アオヤギバナ					VU	
オモダカ科	ヘラオモダカ						VU
	マルバオモダカ				VU	EN	
	アギナシ				NT		NT
トチカガミ科	セトヤナギスブタ				EN	EN	
	マルミスブタ				VU	EN	
	スブタ				VU	VU	
	トチカガミ				NT	EN	
	ミズオオバコ				VU		
ホロムイソウ科	シバナ				NT	NT	
ヒルムシロ科	ヒルムシロ					NT	NT
	ササバモ					VU	
	リュウノヒゲモ				NT		
	イトモ				NT	NT	
イバラモ科	ムサシモ				CR		
	サガミトリゲモ				VU	VU	
	イトトリゲモ				NT		NT
	オオトリゲモ					NT	VU
ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ				VU		
ユリ科	ヤマラッキョウ						NT
	キイトラッキョウ				VU	VU	
	チゴユリ						VU
	カタクリ						CR
	ノカンゾウ						EN
	キスゲ						VU
	キヨスミギボウシ						VU
	コバギボウシ						VU
	ヤマユリ						CR
	ウバユリ						VU
	ササユリ						EN
	コオニユリ						CR
	サクライソウ				EN		
	ミヤマナルコユリ						EN
	イワショウブ						NT
	アマナ						VU
ミカワバイケイソウ				VU	EN		
ヤマノイモ科	ヒメドコロ						VU
ミズアオイ科	ミズアオイ				NT		
アヤメ科	ノハナショウブ						EN
ヒナノシヤクジョウ科	ヒナノシヤクジョウ					VU	CR
ホシクサ科	オオホシクサ					EN	
	ツクシクロイヌノヒゲ				VU	NT	EN
	シラタマホシクサ				VU	VU	VU

表 4-2-1-83(6) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
ホシクサ科	クロホシクサ				VU	VU	CR
イネ科	ハネガヤ					EN	
	ミズタカモジ				VU	EN	
	ヒメコヌカグサ				NT		NT
	ヒナザサ					VU	
	ヌマカゼクサ						VU
	コゴメカゼクサ					VU	
	ウンヌケモドキ				NT	VU	
	ウンヌケ				NT	NT	VU
	コウボウ						VU
	トウササクサ					NT	
	ウキシバ					NT	VU
	シダミコザサ					VU	VU
	ナリヒラダケ					VU	
サトイモ科	スルガテンナンショウ						VU
ミクリ科	ミクリ				NT	VU	EN
	ヤマトミクリ				NT	NT	EN
	ナガエミクリ				NT		VU
	ヒメミクリ				VU		
	イトテンツキ				VU		
カヤツリグサ科	トダスゲ				EN	EX	
	ショウジョウスゲ						NT
	ツクバスゲ						VU
	ケタガネソウ						VU
	ピロードスゲ						VU
	オオタマツリスゲ					EN	
	ウマスゲ						VU
	タカネマスクサ					VU	
	ホザキマスクサ				VU		
	ジングウスゲ				NT		
	センダイスゲ					VU	EN
	アズマナルコ						EN
	ニシノホンモンジスゲ					VU	VU
	ヒメアオガヤツリ					EN	
	ヌマガヤツリ					NT	
	オオシロガヤツリ					EN	
	ヒメガヤツリ					VU	EN
	セイタカハリイ					VU	
	トネテンツキ				VU	VU	
	オオイヌノハナヒゲ					VU	
	イガクサ						EN
	マツカサススキ						EN
	シズイ					VU	
	イセウキヤガラ						NT
	ミカワシンジュガヤ				VU	VU	EN
	ラン科	ヒナラン				EN	
イワチドリ					EN	EN	
マメヅタラン					NT		
ムギラン					NT		
エビネ					NT	NT	
ナツエビネ					VU	VU	
ユウシュンラン					VU		
キンラン					VU	NT	CR

表 4-2-1-83(7) 生育が確認された植物類

科名	種名	選定基準					
		①	②	③	④	⑤	⑥
ラン科	サイハイラン						VU
	マヤラン				VU		
	クマガイソウ				VU	VU	
	セッコク					NT	
	カキラン						VU
	ミヤマウズラ						VU
	ジュスラン					VU	CR
	オオミヤマウズラ					EN	CR
	ムカゴトンボ				EN		
	サギソウ				NT	VU	VU
	ミズトンボ				VU	VU	
	ホクリクムヨウラン					VU	
	ムヨウラン						EN
	エンシュウムヨウラン						NT
	ウスギムヨウラン				NT	EN	
	ジガバチソウ						VU
	クモキリソウ						VU
	スズムシソウ				VU		
	ツクシサカネラン				CR		
	コバノトンボソウ						EN
トキシソウ				NT	EN		
ヤマトキシソウ					VU		
93 科	340 種	0 種	0 種	4 種	141 種	160 種	174 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ① 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に定められた種(特天:特別天然記念物、天:天然記念物)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号)に定める国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種  
国内:国内希少野生動植物種、国際:国際希少野生動植物種
- ③ 「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」(昭和48年愛知県条例第3号)において指定希少野生動植物種に指定された種
- ④ 「環境省レッドリスト」(平成19年、環境省発表)に掲載されている種  
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ⑤ 「レッドデータブックあいち2009」に掲載されている種  
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ⑥ 「レッドデータブックなごや」に掲載されている種  
CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

注3. 分類、配列などは、原則として「自然環境保全基礎調査 植物目録1987」(昭和62年、環境庁)に準拠した。

資料:「レッドデータブックあいち2009」(平成21年3月、愛知県環境部)  
「レッドデータブックなごや2004」(平成16年3月、名古屋市環境局)  
「レッドデータブックなごや2010-2004年版補遺-」(平成22年10月、名古屋市環境局)

### 3) 藻場・干潟・湿地の状況

対象事業実施区域を含む周辺市には、藻場及び干潟の分布はない。

愛知県にはラムサール条約登録湿地である藤前干潟および東海丘陵湧水湿地群が存在するが、対象事業実施区域を含む周辺市区ではない。また、環境省は、生物多様性保全の観点から重要な湿地を500箇所選定している。「日本の重要湿地500」によると、愛知県内には9箇所選定されており、対象事業実施区域を含む周辺市では、表4-2-1-84に示すとおり、1箇所選定されている。

表 4-2-1-84 湿地の分布状況

地域	選定基準	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
犬山市 小牧市	2	氾濫原、ため池	淡水魚類	濃尾平野外縁部の ウシモツゴ生息地	ウシモツゴの生息地

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

基準1：湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・マングローブ林、藻場、サンゴ礁のうち、生物の生育・生息地として典型的又は相当の規模の面積を有している場合

基準2：希少種、固有種等が生育・生息している場合

基準3：多様な生物相を有している場合

基準4：特定の種の個体群のうち、相当数の割合の個体数が生息する場合

基準5：生物の生活史の中で不可欠な地域（採餌場、産卵場等）である場合

資料：「日本の重要湿地500」（平成25年6月現在、環境省ホームページ）

#### 4) 生態系

##### ア. 生態系の状況

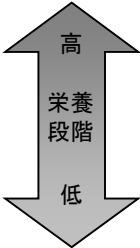
「生物多様性保全のための国土区分（試案）」（平成9年、環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲は本州中部太平洋側区域に属する。本州中部太平洋側区域は暖温帯に属し、年間降水量は中位で、冬季の積雪は少ない区域となっている。この区域の生物学的特性を示す植生はスダジイ、タブノキ等の照葉樹林である。また、この区域は動物相の固有性が高く、ニホンザル等の生息により特徴づけられる。

対象事業実施区域及びその周囲の生態系は、地形・地質、植生等から総合的に判断すると、①北東部の山地から丘陵地にかかる地域、②春日井市から名古屋市の市街地にあたる地域の2地域に区分することができる。なお、各地域の生態系の模式図は、図4-2-1-23に示すとおりである。

- ① 北東部の山地から丘陵地にかかる地域は、山地や丘陵地の森林と谷底平野の耕作地、ため池等で構成される里山の生態系が成立している。この地域で成立する主な植生はスギ・ヒノキ・サワラ植林、モチツツジ・アカマツ群集、コナラ・クリ群落、落葉果樹園等の樹林環境及び水田雑草群落、畑地雑草群落等の草地環境となっている。よって、この地域に生育する植物種は、スギ、ヒノキ、サワラ、アカマツ、コナラ等の木本植物とヤナギタデ、ミゾソバ、セリ、メヒシバ、ヨモギ、ナズナ等の草本植物が生育する。また、一部のため池では、ヨシ等の挺水植物やヒシ等の浮葉植物が見られる。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、アカネズミ、ヒメネズミ等のネズミ類、コウベモグラ等のモグラ類に代表される哺乳類、キジ、ヒヨドリ、ホオジロ、ウグイス、ハシボソガラス等の鳥類、シマヘビ、ニホントカゲ等の爬虫類、カスミサンショウウオ、トノサマガエル等の両生類、ギフチョウ、カブトムシ、ゲンジボタル、タガメ等の昆虫類、オイカワ、ギンブナ、メダカ等の魚類が考えられる。これらを餌とする生態系の上位性の種として、キツネ、イタチ等の哺乳類、オオタカ、サシバ、ダイサギ等の鳥類が考えられる。

② 春日井市から名古屋市の市街地にあたる地域は、平坦な地形に市街地が広範囲に分布し、自然環境は比較的少なく、都市の生態系が成立している。この地域で成立する主な植生は市街地であり、その中に小規模な水田雑草群落、畑地雑草群落、落葉果樹園等が散在している。よって、この地域に生育する植物種の種数は少なく、人為的環境に適応した種、植栽種及び外来種が占める割合が多くなっている。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、ネズミ類、モグラ類等の小型哺乳類、スズメ、ムクドリ等の鳥類、アブラゼミ、モンシロチョウ等の昆虫類が考えられる。また、これらを餌とする生態系の上位性の種として、タヌキ等の中型哺乳類、ハシブトガラス等の鳥類の生息が考えられる。

① 北東部の山地から丘陵地にかかる地域

	キツネ、イタチ、オオタカ、サシバ、ダイサギ		
	オイカワ、ギンブナ、メダカ等	ネズミ類、モグラ類、キジ、ヘビ類、カスミサンショウウオ、ギフチョウ等	
基盤環境	開放水面(ため池)	スギ・ヒノキ・サワラ植林、モチツツジ・アカマツ群集、コナラ・クリ群落、落葉果樹園等の樹林環境	水田雑草群落、畑地雑草群落等の草地環境
生態系区分	里山の生態系		

② 春日井市から名古屋市の市街地にあたる地域

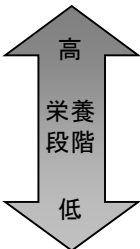
	タヌキ、ハシブトガラス等			
	ネズミ類、モグラ類、スズメ、ムクドリ、アブラゼミ、モンシロチョウ等			
基盤環境	市街地	水田雑草群落	畑地雑草群落	落葉果樹園
生態系区分	都市の生態系			

図 4-2-1-23 生態系の模式図